国際ロータリー第 2680 地区
第 8 回戦略計画委員会
議　事　録

開催日時　　2023 年　2 月　28 日（木）16：00～18：00
開催場所　　神戸三宮東急 REI ホテル
議事録作成人　　委員　阪本渚子

次　第

1. 開会挨拶　　阪上ガバナー

2. 出席者　阪上栄樹ガバナー(宝塚)、安行英文ガバナーエレクト(三田)、
矢坂誠徳ガバナーノミニー(神戸西)、城守ガバナーノミニー・デジグネート(姫路)、古川彰治代表幹事(宝塚)、髙瀬英夫委員長(西脇)、矢野宗司副委員長(加古川中央)、神谷誠治(尼崎中)、天羽公夫(甲子園)、永瀬隆一(芦屋川)、竹原善記(宝塚)、篠倉庸良(柏原)、山本裕計(神戸東)、和田孫博(神戸東灘)、今田学志(神戸西神)、小西龍機(小野加東)、阪本渚子(神戸須磨 RAC)、若林学次期代表幹事(三田)　※敬称略

3. 審議事項及び協議事項

① 地区大会、第 2 期ビジョン・戦略計画決議案について（髙瀬委員長）
第 2 期ビジョン・戦略計画決議案は、地区大会の決議案に盛り込まれている。
当日配布の冊子をご確認お願いします。

② 4 月 29 日地区研修・協議会、当委員会の分科会（会長部門）への参加について
（髙瀬委員長）
会長部門分科会の中で戦略計画について説明する時間を安行エレクトから頂いた。

（安行）クラブ会長エレクトには RI のテーマ・方針と地区の方針に合わせて、戦略計画についても説明して頂くことが肝心だと考える。戦略計画委員会には地区協議会の会長部門において、戦略計画の説明をして頂きたい。おそらく分科会中に質問を受け付ける時間はないため、質問等があれば後日事務局を通じて問い合わせてもらう。
（髙瀬）誰が出席し、どのように説明するかは、また後日連絡する。

4. 啓発ビデオ作成についての意見交換

【決定事項】
・10 分以下と 30 分の 2 種類作る
・挨拶やお断りなどは割愛

・動画を見なくても、音声だけで理解できるような構成
・予算は未定。コストは極力かけず、委員会のメンバーで出演、作成する。
・ユーチューブで動画を公開する
・2023-24 年度以降 3 年間のガバナー3 人に登場して頂く
・シナリオは矢野副委員長に依頼、次回の委員会までに原案を作成する。
・総合プロデュース　山本委員、助監督　和田委員

【その他意見】

（矢野）プロのアナウンサーに依頼するとコストがかかる。
高校の放送部に依頼するのはどうか

（山本）撮影はスマホでも大丈夫。
→　ガバナー事務局にカメラがある

（和田）目的は各クラブの会員に地区ビジョンと地区戦略計画を伝えること。一般の人々に向けてではないため、ガバナーの直接の声を届けたほうが良い。
→　公式訪問の最初に流すのはどうか。映像を補助的に使う。
→　各クラブでも戦略計画を作れるように持っていくことが目的。地区の戦略計画が出来た理由を説明。

（永瀬）地区を好きなメンバーが作ったムービーではクラブのメンバーに響かないのでは？押しつけになってしまうことを懸念。地区に出ていない一般会員には逆効果となる可能性がある。
→　そういう人たち用に別に作成するのはどうか
→　地区のビジョンの紹介でとどめておくと押しつけ感がないのではないか。演出を魅力的にする必要もある。
→　ガバナーたちの伝え方が重要になる

（小西）都会のロータリーと地方のロータリーの乖離がある。地方のロータリーは職業奉仕の倫理運動という原始的な価値観を大切にしており、RI の現在の方針は響かない。その点について都会と地方の繋がりを考えていく必要がある。
→　RI の方針は変わってきている。過渡期にいる中でどのように対応していくかが大切。

（永瀬）存続の危機にあるクラブが危機感を持っていないところもある。地区に出ていき情報共有をされて疲弊していくクラブとしては、万人受けの映像のほうがよい。内容と映像でコントロールできる部分は検討するべき
→　数値目標はあまり前に出さない方がよい
→　いいクラブにするにはどうしていったら良いか、各クラブに戦略計画委員会を作ることを地区戦略計画委員会から提案しているという伝え方をする。

（小西）2680 地区の戦略計画に職業奉仕が入っていないのはどうなのか。

（髙瀬）各クラブにいかに地区戦略計画を実践してもらうか。各クラブが考えるきっかけ作りを戦略計画委員が提供する。

（矢野）映像の背景にも動き、変化があった方が見やすい
→パワーポイントのスライドであれば背景に使える
→RI の方向性、地区がビジョン・戦略を作るに至った過程、啓発の３つに分けて、それぞれのパワーポイントを GE,GN,GD が作る
→それに 2680 地区らしさをガバナーたちが盛り込んで伝える
→戦略計画のみを提示すると 2680 地区らしさが見えてこないため、映像の中で中核的価値観の説明もしていく

5.　４月以降委員会の進め方について（叩き台として）
日　時：　3 月 31 日（金）　16：00～18：00
場　所：　灘高校
講演（和田灘高校前校長）＋委員会
講演は委員メンバー以外も参加可
駐車可
懇親会：JR 住吉駅近くで検討

委員の地元で委員会を開催する。アイディアを募集
4 月か 5 月は座禅会を実施
6 月は西脇（ロイヤルホテル）で委員会・懇親会を開催

6. その他

①　ガバナー補佐のクラブアッセンブリーについて

（髙瀬）先日のガバナー諮問委員会にて神木パストガバナーから、2002 年に DLP（ガバナー補佐制度）が出来て以来、ガバナーが行っていたクラブアッセンブリーをガバナー補佐が行うようになり、ガバナーがクラブ会員と直接話をする時間がなくなってしまったことがクラブの会員減少に影響しているのではないかというお話があった。また、グループによってガバナー補佐によるクラブアッセンブリー実施の有無が異なることが分かった。ガバナー補佐は一律してクラブアッセンブリーをやるべきではないか。

（矢野）ガバナーの負担を軽減させようということで、ガバナーからのクラブアッセンブリーはしないということになった。神木パストガバナーが仰ったのは、そのことで地区とクラブが疎遠になってしまったのではないかということ。ガバナーがすることになると、それで 140 日が終わってしまう。

（和田）神戸東灘 RC は今までは報告はまとめて提出していた。しかし今年度は計画を出していなかったら、両方必要だと急に今年度のガバナー補佐に言われた。ガバナー補佐間で、ガバナーに提出するものの認識はある程度共通させておいたほうがいいのではないか。

（安行）マイロータリーにもクラブの報告をするところがあり入力しなければいけないが、やっていないクラブがたくさんある。

（矢坂）クラブ報告書の提出は徹底されているが、マイロータリーの報告更新はあまり周知されていない。ガバナー補佐はクラブ報告書の提出と更新を義務付けられているが、年度間でその引継ぎが出来ていなかった。

（矢野）クラブはクラブセントラルに入力しないといけない。この地区は比較的クラブがしっかり入力している。

（矢坂）クラブアッセンブリーに出席するのはガバナー補佐の大きな仕事ではあるが、ガバナーが公式訪問だけで帰ってしまうとコミュニケーションが取りにくくなる。そのあとにガバナーアッセンブリーのようなものがあればよいが、今はない。10 分でも公式訪問のあとに談話会のような形でガバナーと会員が話す機会を作ったらよい。クラブアッセンブリーにガバナーが一緒に行くと、ガバナー補佐が仕事をしにくくなる。

（今田）神木さんが仰るのは、もっと会員の皆さんの意見を吸い上げたいということ。神木さんがガバナーをされていた時には地区に会員が 4,300 人を超えるほどいた。ガバナー補佐の経験から言うと、アッセンブリーに参加すると会員の顔がよく見える。それはガバナー補佐にとっては良いこと。今はクラブ会員数が減っているため、アッセンブリーにはほとんどの会員が出席している。ガバナー補佐はそこで時期リーダーの発掘をして、ガバナーに報告する。

② 次年度の戦略計画委員会について

（髙瀬）次年度の戦略計画委員会について、安行エレクトから委員長と副委員長は留任と言われている。委員メンバーも次年度も引き続きお願いしたい。天羽委員はクラブ運営管理委員長、矢坂ノミニーはガバナーエレクトとして次年度も出席してもらう。

③ 配布資料の『大切にしたいもの』について

（髙瀬）配布した冊子は RID2690 の同期ガバナー菊池捷男様から送られてきた冊子。参考にして頂きたい。

7. 閉会挨拶　　矢坂ガバナーノミニー